楽踊楽座 全国行脚 記録

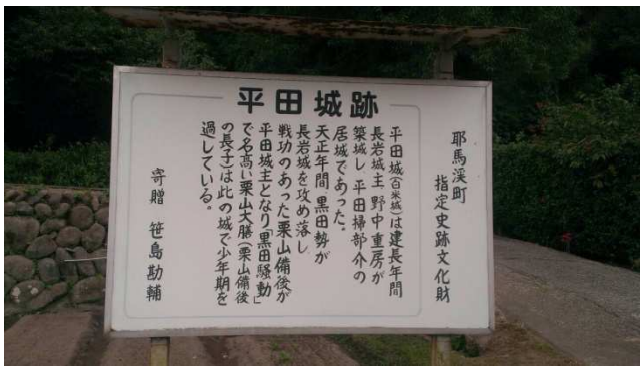
行脚 No.42

日時	2013年9月29日
行脚先	平田城
住所	大分県中津市耶馬溪（豊前国）
行事名	

特徴

別名、白米城。
建久年間(1190年～1199年)、宇都宮家の同族・野中氏によって築かれました。
後に野中氏は長岩城を築城し移り、平田掃部介を平田城の城番として配置しました。
しかし天正16年(1588年)黒田官兵衛が長岩城の野中氏を攻め入り、野中氏は滅亡となります。
その後平田城には、黒田二十四騎・黒田八虎の一人、栗山利安(栗山善助)をこの城に配置しました。
平田城は黒田官兵衛に中津藩の防御を託された栗山利安の居城というだけあり、大規模なものであったと言われています。

黒田官兵衛との関わり

黒田官兵衛が攻め落とし、黒田二十四騎・黒田八虎の一人、栗山利安(栗山善助)の居城となった城です。
栗山利安は天文19年(1550年)に生まれ、早くから官兵衛の側近として仕えました。
永禄12年(1569年)、青山・土器山合戦にて初陣を果たし、首級を2つ挙げております。
天正6年(1578年)官兵衛が荒木村重により有岡城に幽閉された際、黒田官兵衛を救出しました。
文禄2年(1593年)に官兵衛が隠居すると、黒田長政に仕えて朝鮮出兵にも参加し、晋州城の戦いで功績を挙げました。
慶長5年(1600年)の関ヶ原の戦いでは官兵衛と共に豊後国に出兵し、西軍の大友義統と戦い、武功を挙げています。
戦後、長政が筑前福岡藩に移封されると、1万5,000石の所領を与えられました。
元和3年(1617年)に隠居し、寛永8年(1631年)に82歳で亡くなりました。
黒田家臣の母里友信(母里太兵衛)と義兄弟の契りを結んでいたともいわれています。
黒田騒動の張本人として知られる利安の子の栗山利章(栗山大善)は、幼少期をこの城で過ごしました。

記録